

大名美恵子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info



今年もどうぞよろしく お願いいたします。

1月3日、国道245号から虚空蔵尊への入口のところで、さよなら原発ひたちなか実行委員会の方々と、東海第二原発再稼働ストップの宣伝行動を行いました。

写真は、この日の虚空蔵尊前のもので、大勢の方々が参拝に来ていました。

宣伝行動は12名の参加で、1時間でした。

たが、500枚のチラシ配布ができました。村内外の方々から「絶対止めてほしい」「がんばってほしい」など、声援が寄せられました。

東海第二原発は「もう動かないでほしい」、これが多くの願いであることを改めて実感できました。

消費税10%の矛盾が噴き出し“ボロボロ”に

ストップの一点で大同団結を 「2019年10月からの消費税10%中止を求める署名」を

批判その1 「こんな経済情勢で増税を強行していいのか」という批判

①内閣官房参与を務めた藤井聡京都大学教授。「10%への税率の引き上げは日本経済を破壊する」「栄養失調で苦しむ子どもにさらに絶食を強いるようなもの」と強く反対。そして、『『デフレ下の消費増税』が極めて深刻なリスクをもたらすことが懸念されています。この危機を乗り越えるべく、一学者、一言論人として必要だと信ずる政策論を、力の限り、全力を賭して発言し続けて参る所存です』、と。

②セブン&アイ・ホールディングス名誉顧問の鈴木敏文氏。増税は必要としつつも、「いまのタイミングで消費税を上げたら、間違いなく消費は冷え込んでしまう」「国内景気がさらに悪化して、消費の減少、企業倒産の増加、失業率の上昇といった負の連鎖に直面する可能性もある」と強く警告。

※2014年の消費税8%への増税を契機に、家計消費は年間25万円も落ち込み、深刻な消費不況が続いています。昨年7~9月期のGDPは年率換算でマイナス2.5%と、前回の消費税増税直後の2014年4~6月期以来の大幅な落ち込みとなりました。こうした経済情勢のもとで、消費税に賛成という立場の人々も含めて、いま増税することへの強い懸念が広がり、増税中止を求める声広がっていることは重要です。

批判その2 「景気対策」なるものが、前代未聞の異常で奇々怪々のものになったことへの批判

「ポイント還元」 混乱と不公平を招くことが必至であり、怨嗟(えんさ)の的となっている。「複数税率」とセットとなることによって、**買う商品**——食料品か非食料品か、**買う店**——大手スーパーか中小小売店かコンビニか、**買い方**——現金かカードか、**この三つの要素で、税率が3%、5%、6%、8%、10%と5段階となります**。天下の愚策に対して批判が広がり、日本スーパーマーケット協会、日本チェーンストア協会、日本チェーンドラッグストア協会の3団体は、「日々の買い物において必要のない混乱が生じる」「過当な競争を招き込む」などの懸念をあげ、見直しを求める要望書を政府に提出しました。

※消費税10%は、あらゆる面で矛盾が噴き出し、すでに“ボロボロ”の状態。「増税するならまず大企業と富裕層から」——日本共産党が提唱している「消費税に頼らない別の道」を求めましょう。